

## 世界を知り尽くした 岡村龍哉

### 岡村 龍哉の宝石・健康紀行「イギリス」編（2005）

関西空港から ヒースロー空港 に辿り着くのに 12 時間 15 分 を要した。首都ロンドン（約 755 万人、都市圏人口は約 1300 万人）には感慨深い 『縁』がある。私は意識していなかったのだが、幼少の頃から 『イギリス製』 が好きだった。ラベルや生産地を確認せず購入した嗜好品は何故かイギリス製が多かった。成人してからもその傾向は続いた。スーツ・ネクタイ・シャツ・パンツ・時計・鞆・財布・小物・音楽・小説・自動車・家など、そして、生涯の職業である 宝石商 までもが イギリス （イングランド・ウェールズ・スコットランド・ノーザンアイルランドの面積：244,820Km<sup>2</sup>，総人口：約 6000 万人） 繋がりである。





昨今広く一般に知られることになった世界のダイヤモンド巨人企業、 **デビアス社** のダイヤモンドを一手に販売する 中央販売機構（CSO） の本社は、ロンドンに存在する。今回のロンドン訪問は、その CSO 直接訪問とダイヤモンド事情の考察だ。



ちなみに、研磨済ダイヤモンド・ダイヤモンド原石の世界最大の取引上は、**ベルギー** の **アントワープ** だ。 **CSO** が **年 10 回開催** する「**ゼロ・サム**」取引 『**サイト**』 によりダイヤモンドは消費者の下へ放たれる。意外とロンドン市民も **CSO** がロンドンの何処に存在するかを知らない。赤色 2 階建てバスと共にロンドン名物の黒色タクシーのドライバーでさえ、その所在を知らなかった。もちろん、アポなしで訪問出来る訳は無い。広島から企業・業務案内を手紙・TEL で密に行ない、この日を迎えた。何度も道に迷いながら、到着。何の看板もなく、目印もない。広島大学程の大きな敷地に建物だ。そこに重厚さと格式を兼ね備えていた。応接間（ホテルの小さな宴会場の広さはあった）を通り、最新 **ダイヤモンド事情** の案内を各部屋のダイヤモンドや資料を基に 5 時間程丁寧に受けた。（多くの感動と驚きが有ったが内部の様子はこの辺りまで・・・）



大仕事を終えたので、ロンドン観光だ！



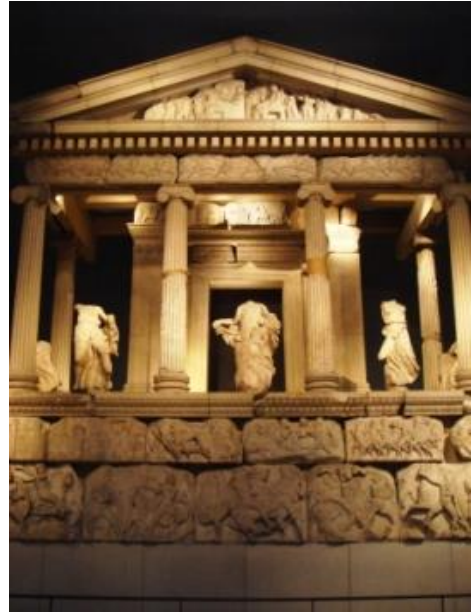


定番のバッキンガム宮殿・タワーブリッジ・ビッグベン・ロンドン塔・大英博物館巡りなどを数日掛けて堪能した。



ロンドンの見所はいまさら申し上げるまでも無いが、伝統を大事にしながら新しいものを取り入れていく、懐の深さを何処に行っても感じた。過去と現在、そして、未来が一つに繋がり、伝統・文化・情報が継承されている。『**互換性**』の大切さは歴史が証明している。





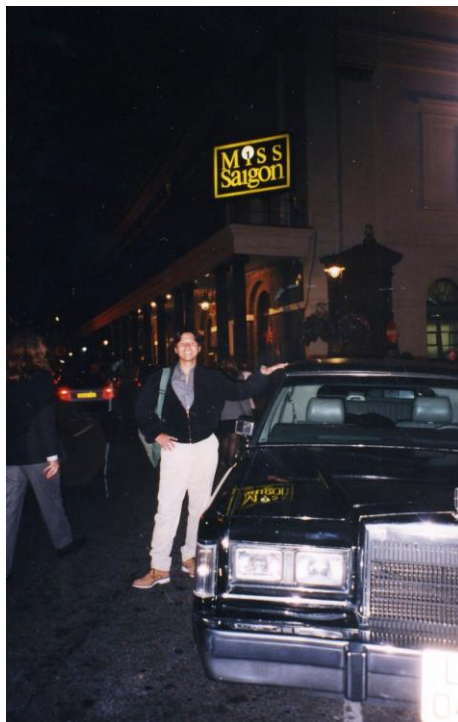
陽の沈まない国、[スペイン](#) は未来を見据えた鉄道の互換性を考慮せず没落した。[アメリカ](#) の繁栄の基盤は、[鉄道王カーネギー](#) の未来の繁栄を予想したアメリカ大陸東西横断の互換性を考慮した鉄道建設だ。私は常に様々な『[互換性](#)』を頭に入れて、活動している。







余談だが、イギリス繋がりに **ボールルームダンス** がある。イギリスで生まれたダンス（**イングランド**の**ブラックプール**が聖地）は、岡村の大好きな競技である。（**A 級選手**だ） また、ミュージカルを毎日のように観覧した。とても迫力があり、イギリス流を体感できた。





アンダーグラウンドを利用して、私の好きな **シャーロックホームズ** の館へ。地下鉄を昇るとシャーロックホームズが迎えてくれた。(聞くとボランティアで演じているそうだ) ロンドンの地下鉄は本当に便利が良い。





このシャーロックホームズは、粋にも素敵な **ブルーサファイア** を身に付けていた。



ここで、シンプルに 『**サファイア**』 を説明しよう。

正式名を **SAPPHIRE** （日本名：**青玉**，化学成分： $Al_2O_3$ ，宝石言葉：**誠実・徳望・友情・真理・賢明・真実**，**9月の誕生石**） と呼び、モース硬度（押し込み強度）は、 **9** である。名前の由来は、サンスクリット語の「**Sauriratne**」（サターンの石） が、その初めであり、ギリシア語では「**Sappheiros**」 で、そしてラテン語の「**Sapphius**」となった。いずれも **青色** を意味する言葉だ。



纏わる **物語** としては、 **SAPPHIRE** の **青** は誠実・貞操・敬

虔を表し、雲が吹き払われたあとの青い空を思わせるため、覆い隠されることのない真実を暗示すると伝えられている。西洋美術で、**聖母マリア**の衣が青い色で描かれているのにはこうした意味が含まれている。



**SAPPHIRE** は **RUBY** と同じ **コランダム宝石** に属し、同じ成分だ。**Cr** (クロム) の着色により **ルビー** は赤色を示すが、赤色以外の各色は全て **サファイア** と呼ぶ。青色のサファイアを **ブルーサファイア**、黄色のサファイアを **イエローサファイア**、橙色のサファイアを **パパラチヤサファイア** などと呼ぶ。**ブルーサファイア** の最も尊ばれる色は、**コーン・フラワー** (インドのカシミール産・矢車草花色)、ちなみに、**ルビー** の最も尊ばれる色は、**ピジョン・ブラッド** (ミャンマー産・鳩の血色) である。



ロンドン には、組織成立の 3 要素 がバランスよく凝縮されている。

1. 「コミュニケーション」
2. 「貢献意欲」
3. 「共通の目的」

である。

自治体や企業、そして、サークル活動までが、組織で運営されている。 1. 「コミュニケーション」 2. 「貢献意欲」 は、比較的容易に解決できるが、3. 「共通の目的」 は、中々難しい問題である。この 3 が、機能する組織を成立させるかの成否を握っている。人によって、「高級感」・「顧客満足度向上の為に施策」・「ブランドの確立」のフレーズを受けて、考え出す発想や具体的な提案は宝石の放つ光と同様に多様だ。あくまで、「共通の目的」の範疇で発想し、提案することが大事である。その根幹になるものが『理念』や『夢』を網羅した『組織の設立目的』である。ロンドンには一貫性を強く感じた。

